

#23



資産形成の学校

出口戦略

安心な老後に向けた WPPモデル

目次 安心な老後に向けたWPPモデル

- ① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？
- ② できるだけ長く働くメリットや対策(W)
- ③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し(P)
- ④ 年金を繰り下げ受給するメリット(P)
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質問事項の回答

老後に安心するために
どうしたらいいの？

結論

WPPモデルを基本として、3つの収入源を確保すること

W

勤労
収入

P

資産
収入

P

年金
収入

目次 安心な老後に向けたWPPモデル

- ① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？
- ② できるだけ長く働くメリットや対策(W)
- ③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し(P)
- ④ 年金を繰り下げ受給するメリット(P)
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質問事項の回答

① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？

WPPモデルは、終身給付の年金を土台とした、老後生活設計の基本形

勤労
収入

W

Work longer

働けるうちはなるべく長く働きましょう

資産
収入

P

Private pensions

NISA、iDeCo、退職給付制度といった
さまざまな制度を活用しましょう

年金
収入

P

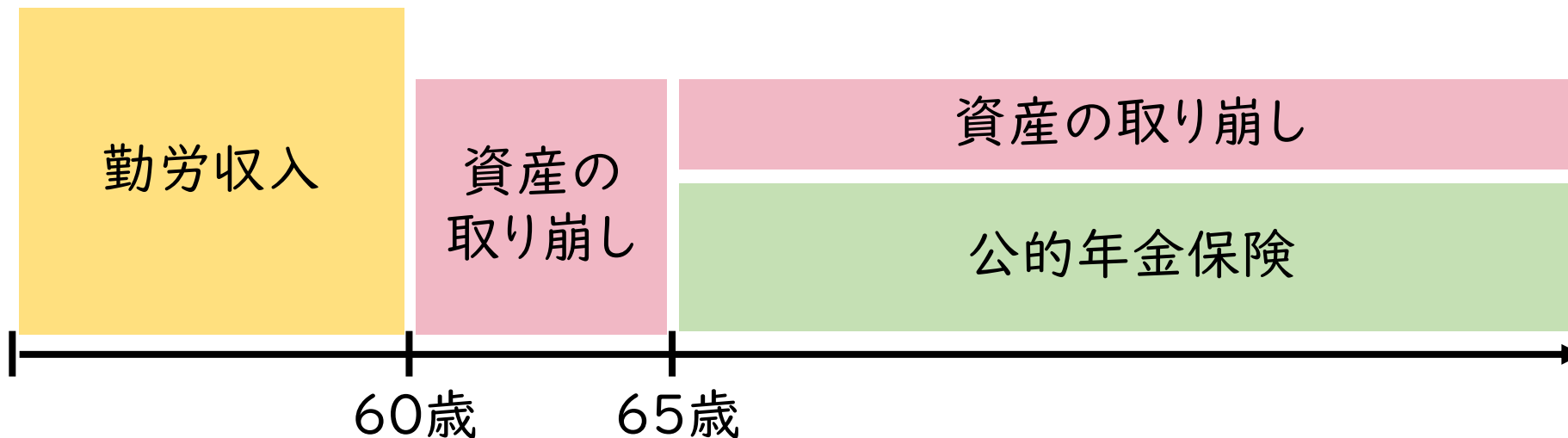
Public pensions

長生きリスクに備えて公的年金を活用しよう

① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？

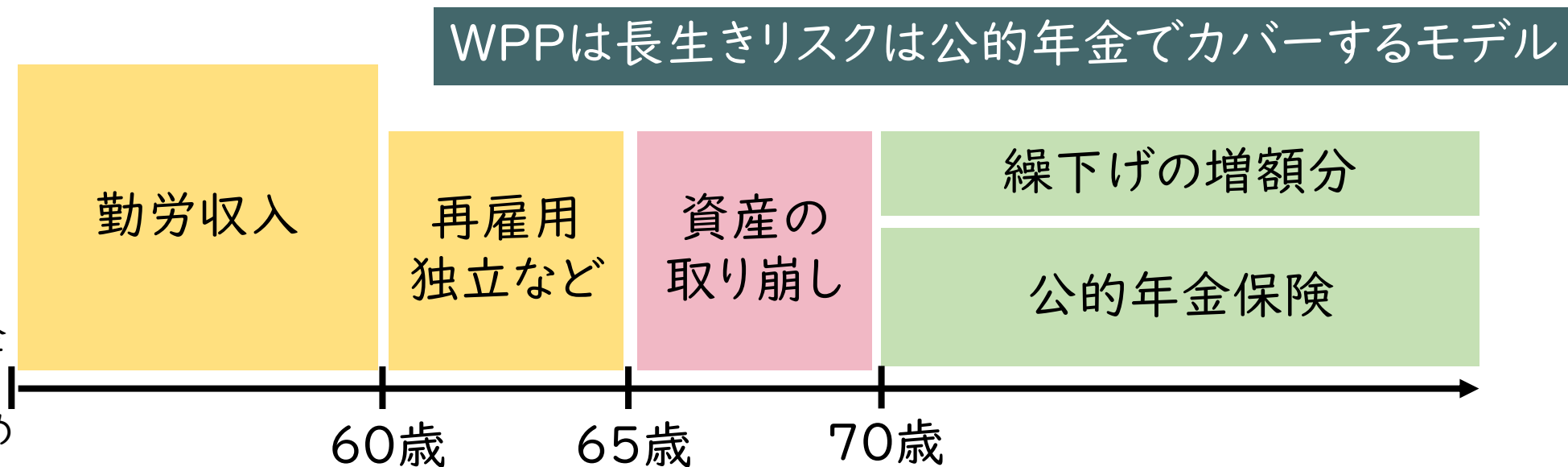
今までの 老後生活

- ・60歳定年退職
- ・退職金
- ・年金は60歳～
- ・個人年金も60歳～



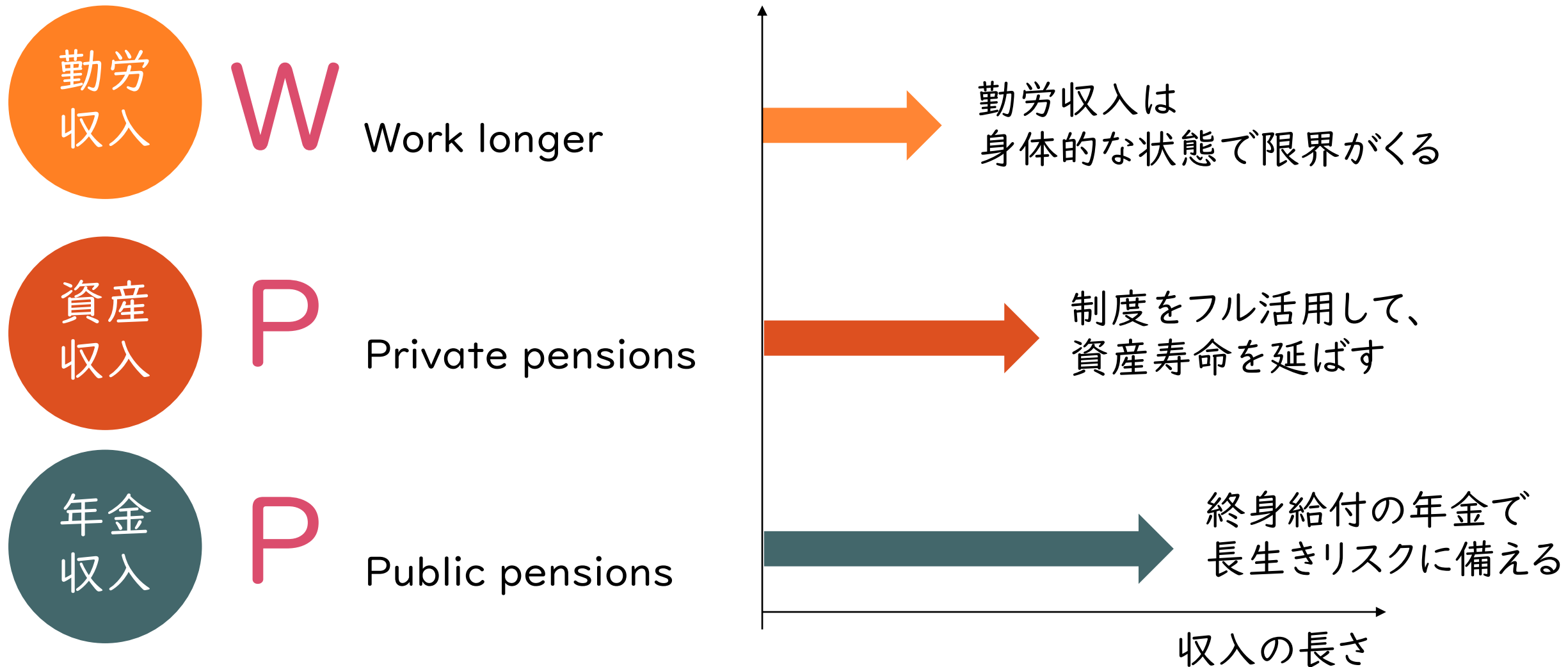
WPPの 老後生活

- ・長く働く自助努力
- ・長生きリスクに公的年金
- ・資産の取り崩しは公的年金をUPさせるため
- ・繰下げで増額



① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？

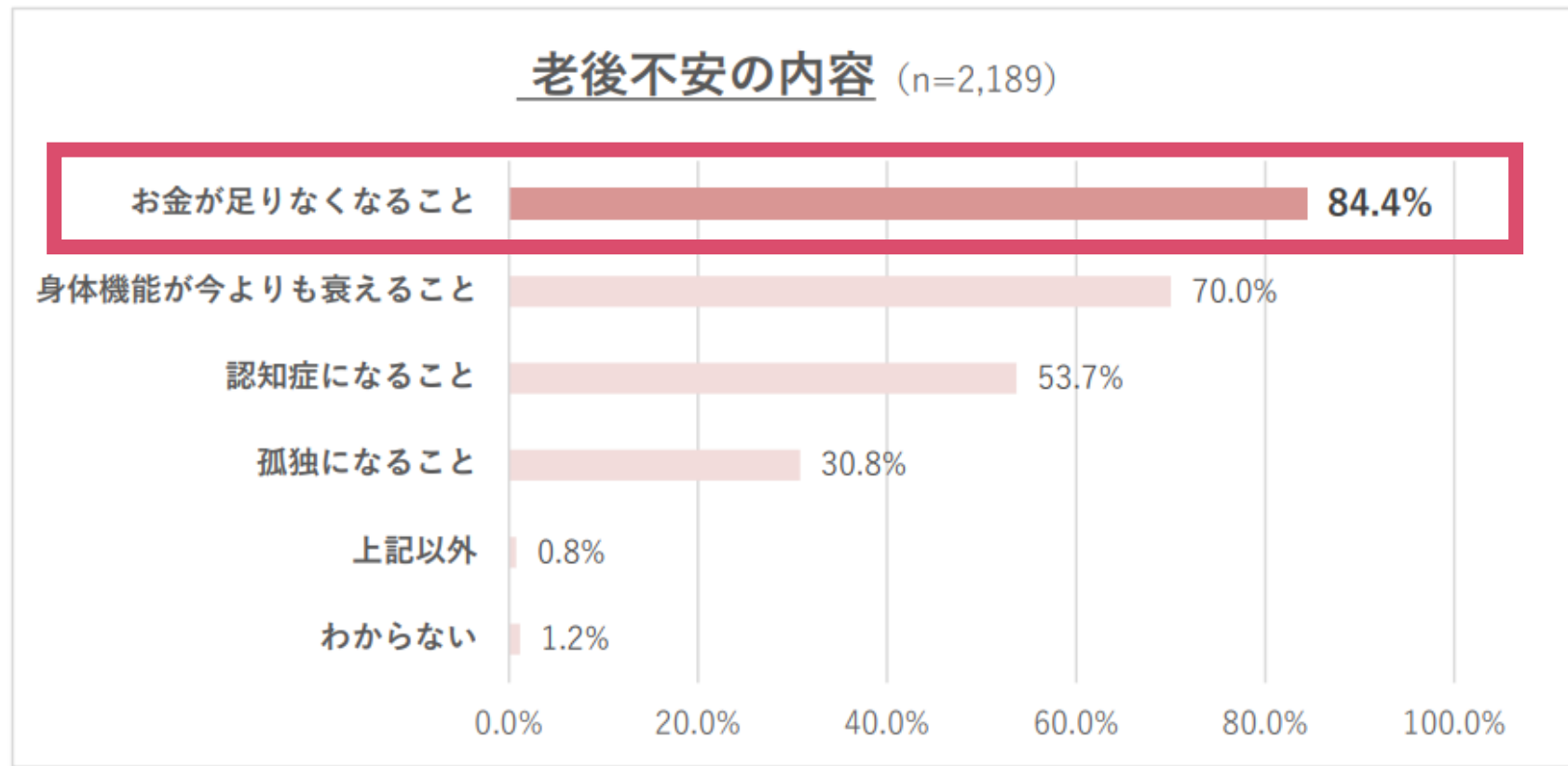
WPPモデルは、人生100年時代の長生きリスクに備えられる



参考 老後の不安「お金が足りなくなること」が80%以上

Q. 老後のどんなことに不安を感じますか？（複数回答）

A. 不安の内容としては「お金が足りなくなること」が最多で84.4%にのぼった。



目次 安心な老後に向けたWPPモデル

- ① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？
- ② できるだけ長く働くメリットや対策(W)
- ③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し(P)
- ④ 年金を繰り下げ受給するメリット(P)
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質問事項の回答

② できるだけ長く働くメリットや対策 (W)



WPP (W: Work longer、P: Private pensions、P: Public pensions)

できるだけ長く働くメリットは直近の収入だけではない

Q なぜ長く働く必要があるのか？

- ①老後準備の期間が延びるから
- ②資産の取り崩し期間が短くなるから
- ③将来の公的年金を増加できるから
- ④老後の期間が短くなるから

他にも・・・

- ・収入があることで安心できる
- ・認知症や病気の予防につながる
- ・社会と接点を持てるため孤独にならない

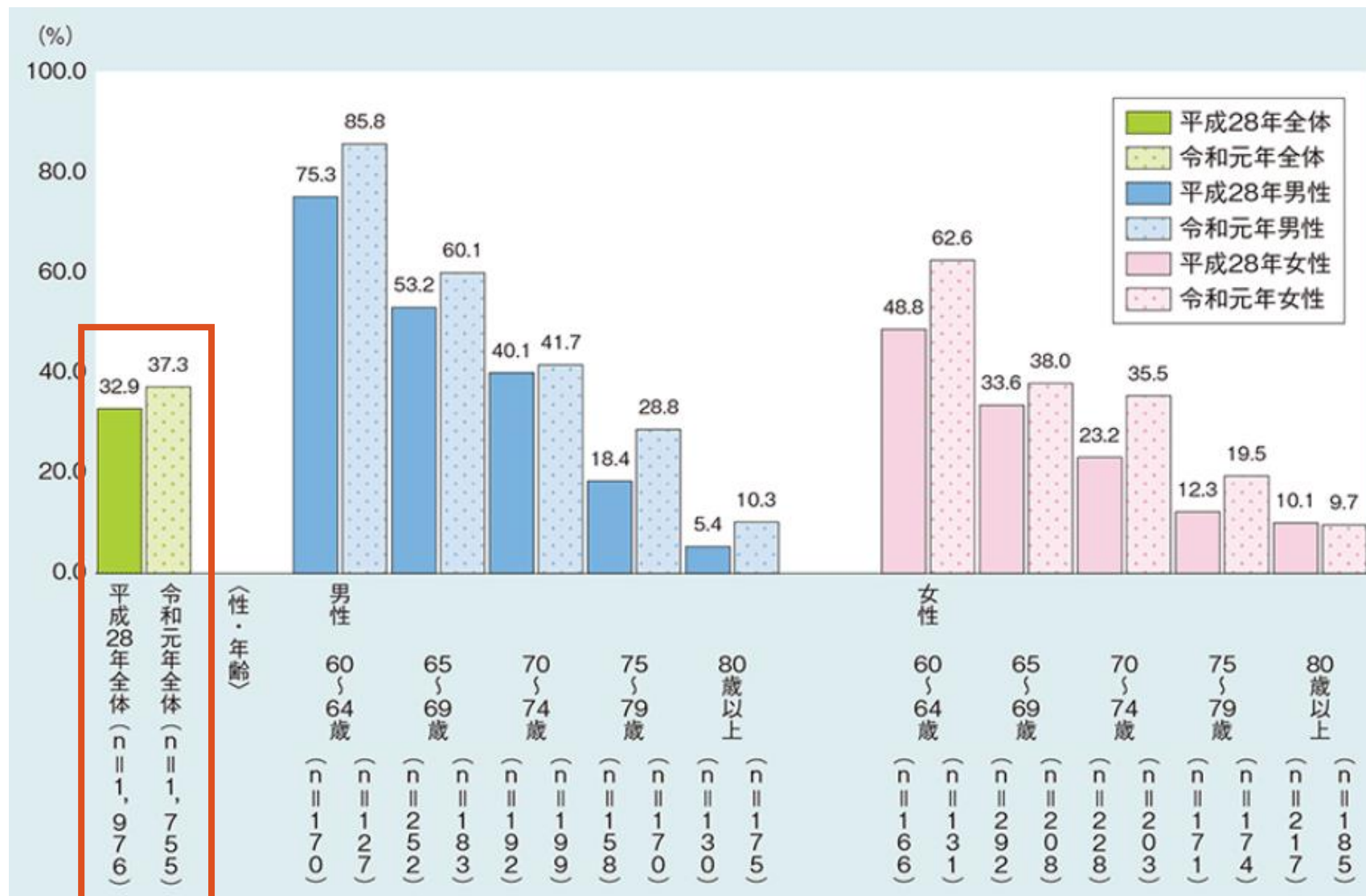
Q 長く働くための対策は？

フルタイム前提の働き方ではなく、
長く働くためにどうしたらよいかを考えておく

- ・再雇用や継続雇用
- ・転職
- ・フリーランス
- ・起業
- ・パート
- ・アルバイト など臨機応変に対応する

参考 60代以上の就業状況

60代以上では約4割の人が収入のある仕事をしているのが現状



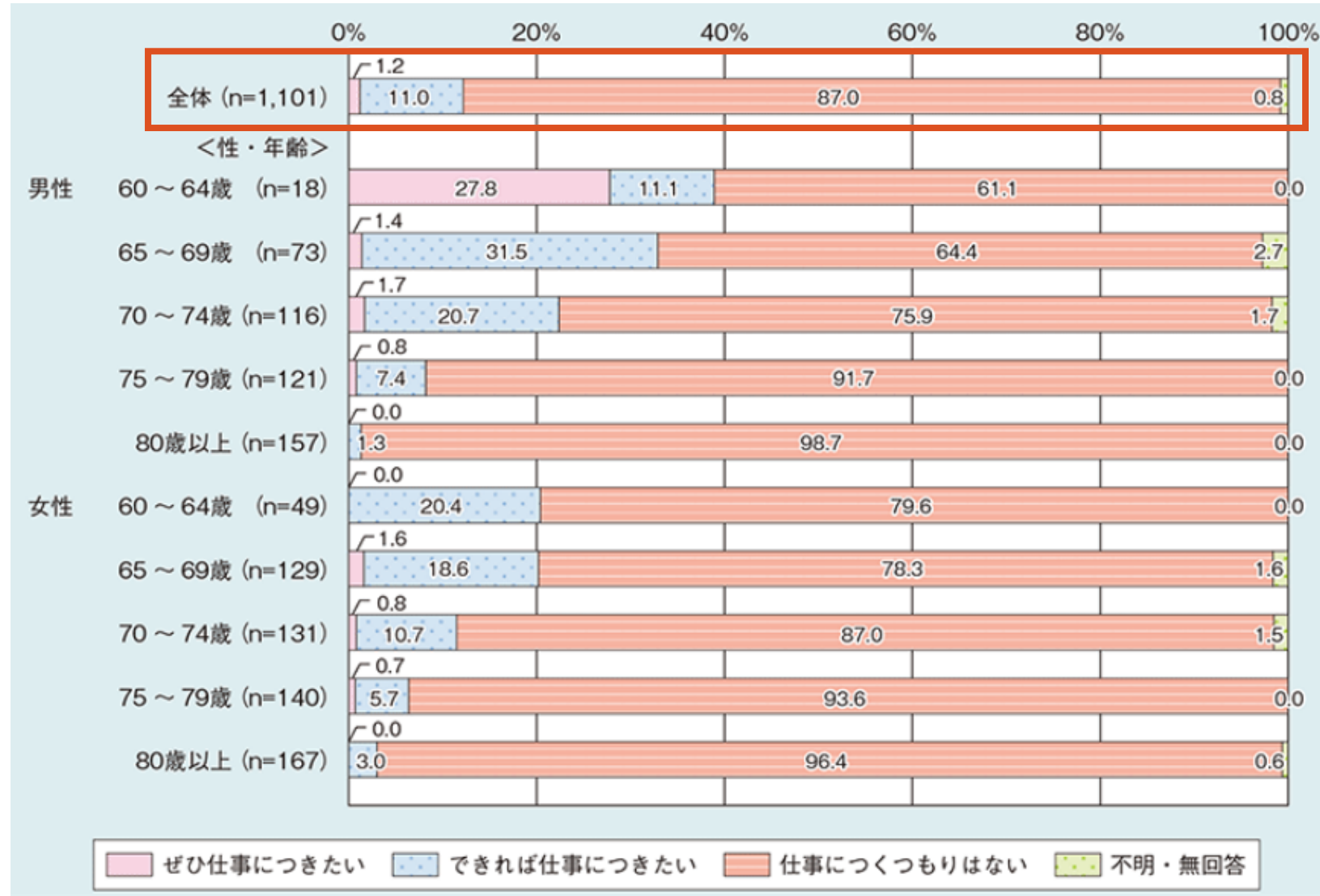
平成28年と比べて、令和元年の割合はほとんどで増加傾向



今後は60歳以上で長く働く社会が普通

参考 60代以上で今後仕事につきたいと思う人は少ない

60代以上で約9割が仕事につくつもりがない、と回答している



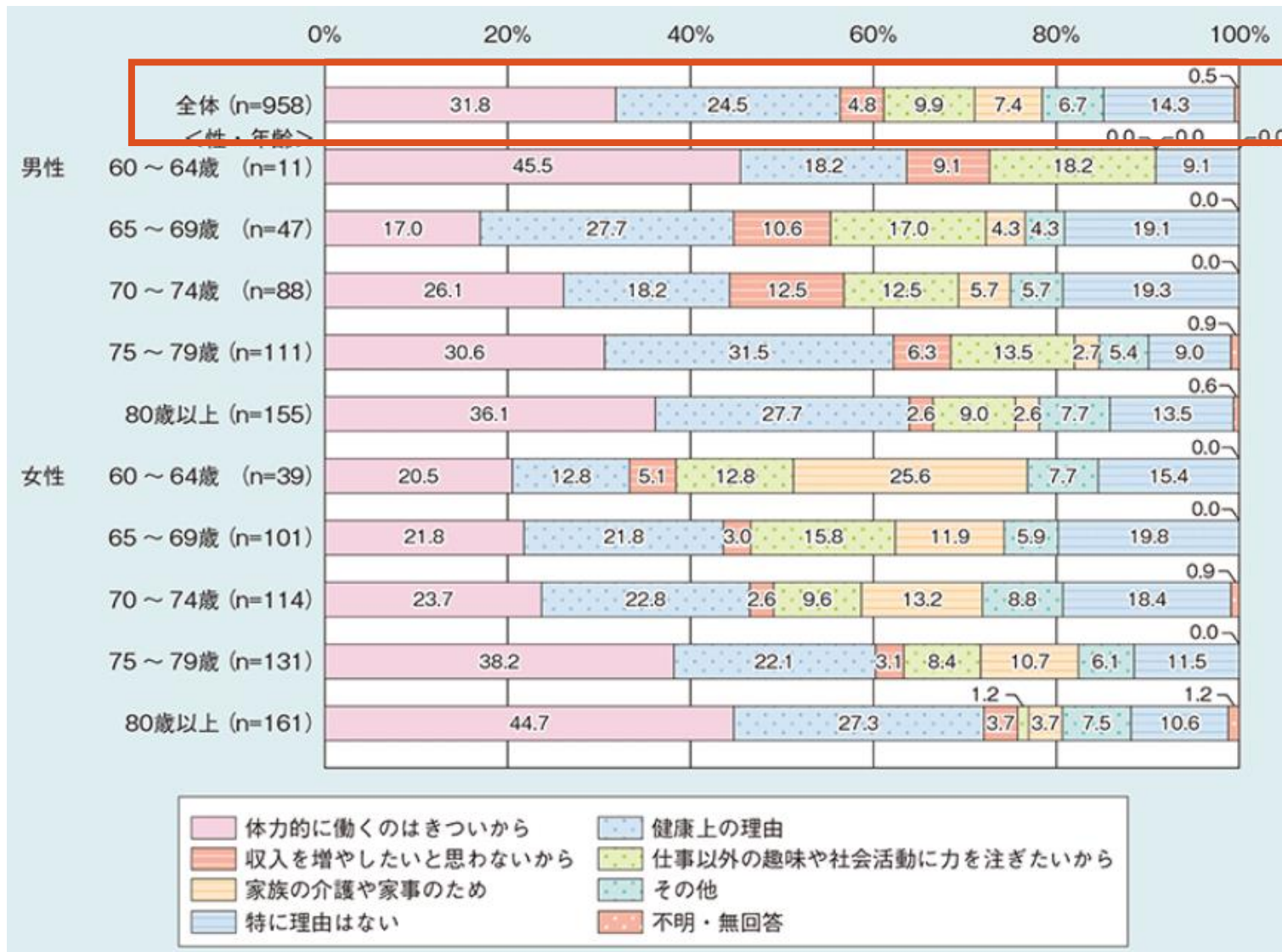
年齢とともに、
仕事につきたい人は
減少している



本当に仕事に
つかなくても大丈夫
为什么呢？

参考 60代以上で今後仕事につきたくない理由

60代以上で約5割が体力的&健康上の理由で仕事につけないと回答



年齢とともに、
勤労収入には
限界がくると考えられる

勤労収入以外で
長生きリスクに備える
必要がある

目次 安心な老後に向けたWPPモデル

- ① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？
- ② できるだけ長く働くメリットや対策(W)
- ③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し(P)
- ④ 年金を繰り下げ受給するメリット(P)
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質問事項の回答

③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し (P)

P

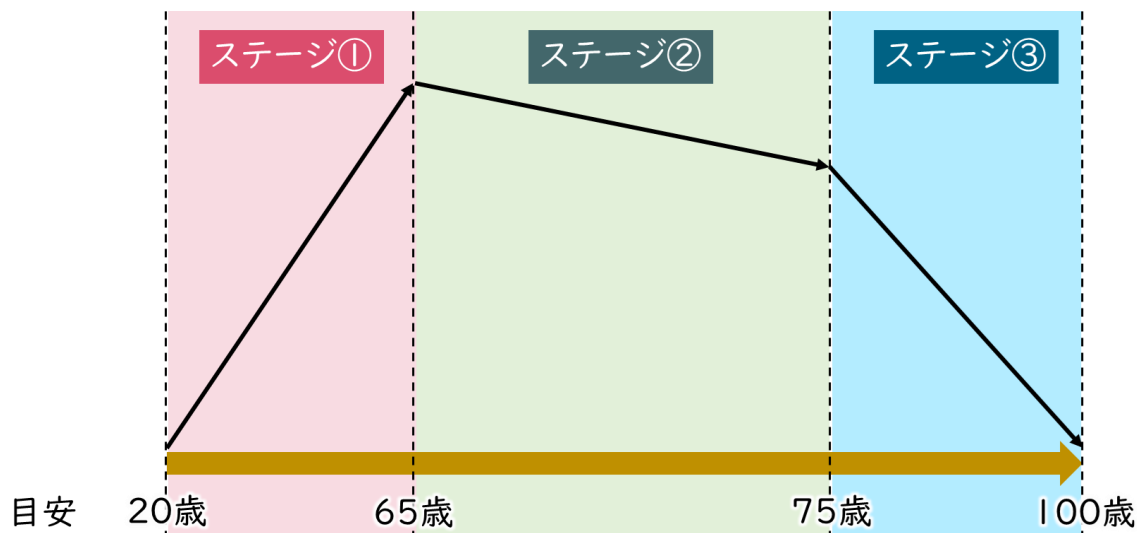
資産
収入

WPP (W: Work longer、P: Private pensions、P: Public pensions)

制度をフル活用しながら、資産寿命を延ばす方法を選択する

Q 基本はどうしたらよいのか？

NISAやiDeCoといった、税金優遇の制度を活用して資産形成で備える



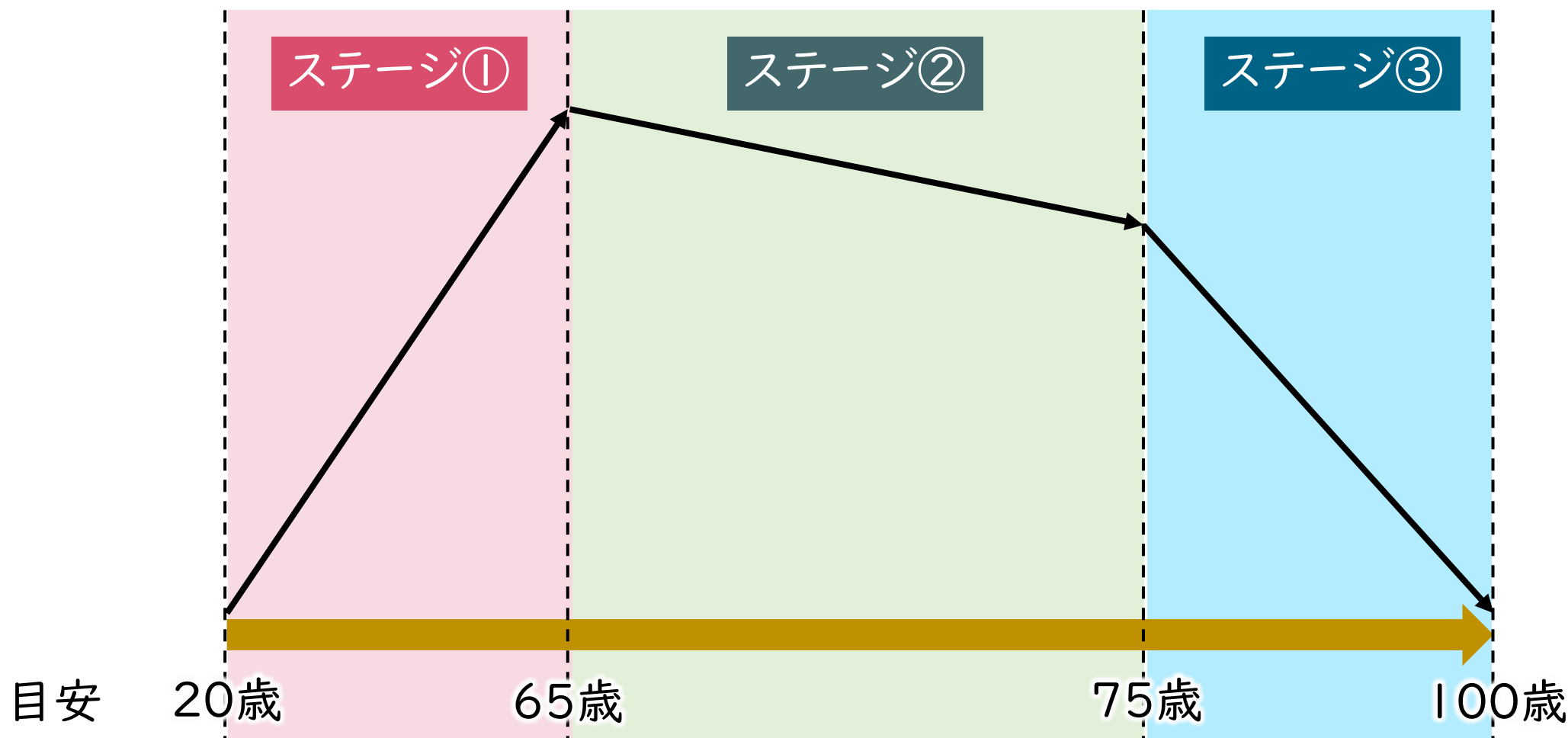
Q どんな私的年金等があるのか？

会社員や公務員の福利厚生によって異なる

- ・退職金制度
- ・中小企業退職金共済(中退共)
- ・特定退職金共済(特退共)
- ・企業年金制度
- ・確定給付企業年金
- ・企業型確定拠出年金など

参考 新時代の出口戦略～【新提唱】3ステージの出口戦略

ステージ①： 積立しながら運用する 例) NISA・iDeCo・保険・貯蓄
ステージ②： 使いながら運用する(定率取り崩し) 例) 4%取り崩し
ステージ③： 投資から卒業し、使用する(定額取り崩し) 例) 毎月10万円取り崩し



目次 安心な老後に向けたWPPモデル

- ① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？
- ② できるだけ長く働くメリットや対策(W)
- ③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し(P)
- ④ 年金を繰り下げ受給するメリット(P)
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質問事項の回答

④ 年金を繰り下げ受給するメリット (P)

P

年金
収入

WPP (W: Work longer、P: Private pensions、P: Public pensions)

終身給付の公的年金で長生きリスクに備える

Q そもそも年金はもらえるのか？

もらえるが、減額されるのは間違いない

【理由】

①マクロ経済スライドの導入

→社会情勢に合わせて自動調整する

②年金は人生100年時代に向けて、

およそ1割が積立されている

→すべてが現役世代に回されるわけではない

Q なぜ年金で長生きリスクに備えるのか？

公的年金保険は、「**終身給付**」だから。

年金は生きている間なら
ずっと受け取ることができる



長生きしたとしても、
対応できるのが公的年金

④ 年金を繰り下げ受給するメリット (P)

2019年財政検証結果

○ 前回の財政検証と同様に、経済成長と労働参加が進むケースでは、マクロ経済スライド調整後も所得代替率50%を確保

※ 経済前提は、前回よりも控えめに設定（実質賃金上昇率 前回：2.3%～0.7% → 今回：1.6%～0.4%）

※ 労働供給は、前回よりも労働参加が進む前提（就業率 前回：2030年推計：58.4% → 今回：2040年推計：60.9%）[労働参加が進むケース]

※ 所得代替率 … 公的年金の給付水準を示す指標。現役男子の平均手取り収入額に対する年金額の比率により表される。

所得代替率 = (夫婦2人の基礎年金 + 夫の厚生年金) / 現役男子の平均手取り収入額

2019年度: 61.7% 13.0万円 9.0万円 35.7万円

所得代替率

高

経済前提

給付水準調整終了後の
標準的な厚生年金の所得代替率

給付水準調整の
終了年度

経済成長率
(実質)
2029年度以降
20～30年

ケースⅠ 51.9% (2046(令和28)年度) → 約16%減少

ケースⅡ 51.6% (2046(令和28)年度) → 約16%減少

ケースⅢ 50.8% (2047(令和29)年度) → 約18%減少

ケースⅣ (50.0%) (2044(令和26)年度) → 約19%減少
(注)46.5% (2053(令和35)年度)

ケースⅤ (50.0%) (2043(令和25)年度)
(注)44.5% (2058(令和40)年度) (注)機械的に給付水準調整を進めた場合

ケースⅥ (50.0%) (2043(令和25)年度)
機械的に給付水準調整を進めると2052年度に国民年金の積立金なくなり完全賦課方式に移行。
その後、保険料と国庫負担で賄うことができる給付水準は、所得代替率38%～36%程度

0.9%

0.6%

0.4%

0.2%

0.0%

▲0.5%

経済成長と労働
参加が進むケー
ス
(内閣府試算の
成長実現ケー
スに接続)

経済成長と労働
参加が一定程度
進むケース
(内閣府試算の
ベースライン
ケースに接続)

経済成長と労働
参加が進まない
ケース
(内閣府試算の
ベースライン
ケースに接続)

所得代替率

2019年度

61.7%



2058年度

44.5%

およそ

約20%減

※ 2004(平成16)年改正法附則第2条において、「次期財政検証までの間に所得代替率が50%を下回ると見込まれる場合には、給付水準調整を終了し、給付と費用負担の在り方について検討を行う」とこととされているが、5年後の2024年度の所得代替率の見通しは60.9%～60.0%となっている。

参考 年金の繰り下げ受給

公的年金は繰り下げ受給をすれば、最大84%増額できる

繰り下げした場合の受給率 = $100\% + 0.7\% \times \text{繰り下げ期間(月単位)}$

例) 65歳から年金を受け取る人を100%とした場合

- ・1ヶ月遅らせる⇒ 0.7%増額
- ・1年遅らせる⇒ $12\text{ヶ月} \times 0.7\% = 8.4\%$ 増額
- ・70歳まで繰り下げ受給⇒ $5\text{年} \times 8.4\% = 42\%$ 増額
- ・75歳まで繰り下げ受給⇒ $10\text{年} \times 8.4\% = 84\%$ 増額

参考 年金の繰り下げ受給のイメージ 例) 65歳で月15万円

受給方法	請求時年齢	受給率	受給額
本来請求	65歳0力月	100%	15万円
繰り下げ受給	66歳0力月	108.4%	16万2600円
	67歳0力月	116.8%	17万5200円
	68歳0力月	125.2%	18万7800円
	69歳0力月	133.6%	20万400円
	70歳0力月	142%	21万3000円
2022年4月以降に70歳になる人は75歳まで繰り下げることができる。	71歳0力月	150.4%	22万5600円
	72歳0力月	158.8%	23万8200円
	73歳0力月	167.2%	25万800円
	74歳0力月	175.6%	26万3400円
	75歳0力月	184%	27万6000円

目次 安心な老後に向けたWPPモデル

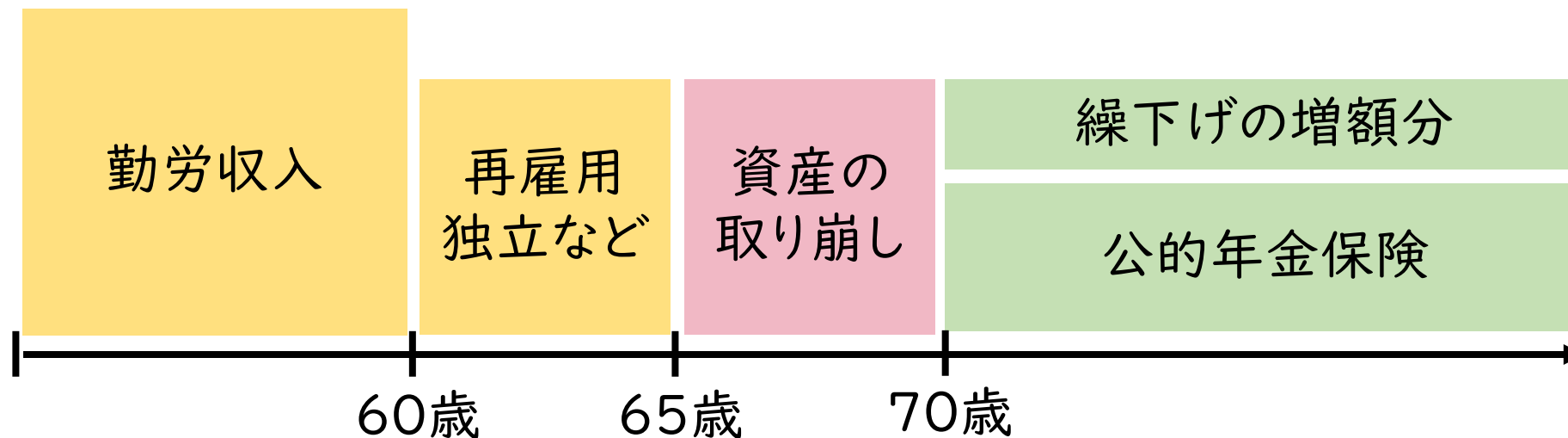
- ① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？
- ② できるだけ長く働くメリットや対策(W)
- ③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し(P)
- ④ 年金を繰り下げ受給するメリット(P)
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質問事項の回答

⑤ 本日のまとめ

WPPは、終身給付の「公的年金」を土台とした老後生活の基本形

- ・【W】再雇用制度などを活用し、できるだけ長く働き、公的年金の受給額をUPさせよう
- ・【P】できるだけ賢く資産を取り崩し、公的年金の繰り下げ受給で受給額をUPさせよう
- ・【P】目先の利益より、長期的に見て繰り下げ受給を選んで長生きリスクに備えよう

繰り下げした場合の受給率 = $100\% + 0.7\% \times \text{繰り下げ期間(月単位)}$



参考 3つの収入源を確保しているのは全体のたった6%

WPPモデルを実行できている方はほとんどいないのが現状

勤労収入・年金収入・資産収入の関係

(単位：人、%)

勤労	年金	資産運用	60-64歳	構成比	65-69歳	構成比	合計	構成比
○	○	○	142	3.8%	252	9.2%	394	6.1%
○	×	○	650	17.3%	72	2.6%	722	11.1%
○	×	×	944	25.2%	92	3.4%	1036	16.0%
○	○	×	195	5.2%	359	13.1%	554	8.5%
×	○	○	289	7.7%	746	27.3%	1035	16.0%
×	○	×	395	10.5%	1071	39.2%	1466	22.6%
×	×	○	403	10.7%	38	1.4%	441	6.8%
×	×	×	685	18.3%	61	2.2%	746	11.5%
合計			3752	100.0%	2734	100.0%	6486	100.0%

(注)勤労、年金、資産運用の○はそれぞれ「働いている」、「年金を受給している」、「資産運用をしている」を示す。×はそれぞれ行っていないことを示す。合計にはそのほか含まれるため一致しない。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

参考 WPP発案者の書籍



画像にマウスを合わせると拡大されます

WPP シン・年金受給戦略 単行本 – 2022/12/29

谷内 陽一 (著)

4.7 ★★★★★ 11個の評価

[すべての形](#)

単行本

¥2,420

獲得ポイント: 73pt [prime](#)

¥2,080 より 7 中古品

¥2,420 より 11 新品

¥4,830 より 2 コレクター商品

Prime感謝祭

本のまとめ買い
キャンペーン

ポイント
還元率

5~9冊
最大6%

10冊以上
最大12%

10/15まで



「公的年金の受取りを何歳まで繰り下げる？」人生100年時代の老後生活設計の新理論WPP（Work longer：就労延長、Private pensions：私的年金等、Public pensions：公的年金）を詳解。

[不正確な商品情報を報告します。](#)

長さ

164
ページ

出版社

中央経済社

発売日

2022年
12月 29日

寸法

15.0 x 1.4 x
21.0
cm

ISBN-10

4502445215

目次 安心な老後に向けたWPPモデル

- ① これからの老後を考える『WPPモデル』とは？
- ② できるだけ長く働くメリットや対策(W)
- ③ 出口戦略を意識した資産の取り崩し(P)
- ④ 年金を繰り下げ受給するメリット(P)
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質問事項の回答

前回までの質問回答

※別動画で回答。本日は一部を回答します。

いただいた質問

- ①コア・サテライト戦略について、新NISAは一先ず全額インデックス投資にしようと思っていたのですが（土台作りのため）、そのうちの1～2割をETFなどのサテライトに回すのはありでしょうか？
もともとは土台作りをさっさと行いたいので、100%インデックス投資の予定でした。ただETFなども気になっているので少し組み込むのはありなのか？と悩んでいます。それとも新NISAではインデックス投資100%+αでサテライト部分を投資する方が良いでしょうか？(新NISA2年目以降は満額しない予定なので、その際は新NISAで行う予定です)(ずっと悩んでいるので多分インデックス投資全振りが向いてる気がしています)
- ②債券は預金と同じ見方ができると聞いたのですが、現金部分を現金+債券とするのはありでしょうか？
（どちらかと言うと債券がどんなものか分からないから買ってみたい気持ちが強い）（合理的ではない）
- ③金融資産は株式や預貯金を含みますが、金融資産〇〇円といった場合に生活防衛資金も含みますか？



やってみる!というのは素晴らしいのでどんどんやって頂いた方がよいです。
投資は目的を叶える手段であるため、手段に「こうしなければならない」という縛りはありません。将来の土台作りの考え方を持ってやっていくべき話になります。

いただいた質問

今回も、分かりやすい解説をありがとうございました。

私自身の今後の計画は、今のところはコアを今まで通り固めるの一択でオルカンを継続し余裕があれば増額するという考えです。

先日見た経済アナリストの動画で、アメリカは現在バブル状態で、これからの20年を考えたら伸びるとは思えず（特にS&P500オンリーの人は）すぐやめた方がいい、という内容の話をしました。（逆にこれからは日本がよくなると言っていた）

これを見て、慌てたり、何をどうしようということはないのですが、アメリカが今バブル状態なのは確かに、と思いますし、低迷期がくるかもしれないとも思いました。

→理由や根拠が大事です。日本がよくなるのは短期目線では？

経済アナリストの人も色んな意見があるので、1つの話を鵜呑みにするのではなく勉強していかないと、と感じました。

ふくちゃんは、書籍以外では、どんな勉強（情報収集）をしていますか？ →実践&生の声&ニュース記事

最後に、知識定着のためアウトプットを提出してください

アウトプットは記憶定着&出席確認のために、必ず提出してください
当日参加できない方は、勉強会後の2週間後までに動画を見てアウトプット

A	B	C	D	E
お名前	2023/07/03 (当日)	2023/07/03 (後日)	7月19日 (当日)	7月19日 (後日)
Aya	☐	☐	☐	☐
EMI	☐	☐	☐	☐
harue	☐	☐	☐	☐
Hitomi	☐	☐	☐	☐
K	☐	☐	☐	☐
kaori	☐	☐	☐	☐
LUCY	☐	☐	☐	☐
manzana	☐	☐	☐	☐
masashi	☐	☐	☐	☐
Mayu	☐	☐	☐	☐
mi	☐	☐	☐	☐
RYOKO	☐	☐	☐	☐
Yoko	☐	☐	☐	☐
あきこ	☐	☐	☐	☐
あべ	☐	☐	☐	☐
おざわ	☐	☐	☐	☐
かおり	☐	☐	☐	☐
がも	☐	☐	☐	☐
きみ	☐	☐	☐	☐
さとうみほ	☐	☐	☐	☐
じゅん	☐	☐	☐	☐
ちい	☐	☐	☐	☐
ちさ	☐	☐	☐	☐
ちょび	☐	☐	☐	☐

7月の勉強会のアウトプットシート

知識を定着させるために、必ずアウトプットしてください。※アウトプットしていない場合、出席にはカウントできません。

このフォームでは、すべての回答者からのメールが自動的に収集されます。 [設定を変更](#)

【Q1】LINEのお名前を記入してください。 *

記述式テキスト (短文回答)

【Q2】勉強会の参加方法を記入してください。 *

- ☐ (当日参加) 7月3日 (月)
- ☐ (後日動画) 7月3日 (月)
- ☐ (当日参加) 7月19日 (水)
- ☐ (後日動画) 7月19日 (水)

10月のスケジュール

10月のテーマ

『新NISAを活用して安心するためには?』

- ・結局、いくら積立をしたら「安心」できるのか、安心って何なのか。
- ・新NISAで老後資金を貯めるためにはいくら必要なのか。※変更あり

10月の予定

~~・10月2日(月)21時~~~

・10月18日(水)21時~

本日のアウトプット期限は、10月16日(月)まで

ご質問タイム

本日の説明の中で
わからなかった点がありますか？

質問などご自由にお願ひします。

※直接聞けなかった方は、
アウトプットシートにご記入ください。